第４回あま市本庁舎基本設計委員会会議録要旨

■日　　時　平成 29 年 8 月 30 日（水）午前 10 時から午前 11 時 45 分まで

■場　　所　あま市役所本庁舎 2 階　第 3・4 会議室

■出席者等

（委　員）　　13 名

（事務局）　　10 名

（傍聴者）　　4 名

（その他）　　5 名

議　事

■議題

(1) 第 3 回基本設計委員会のおさらい

(2) 設計条件の検討・整理すべき事項

【説明内容】

事務局より資料 1 の内容について説明

【主な意見等】

委　員：　歩行者出入口のスロープが北東に計画されているとの説明だが、１箇所のみか。

事務局：　現段階での計画ですが、最もゆるやかなスロープを北東側に設け、その他、バリアフリー基準に準拠したスロープを複数設ける計画です。

委　員：　災害時の支援部隊の参集スペースの想定がなされているとのことだが、スペースは十分なのか。

事務局：　災害時の対応につきましては、現在、防災部局と連携して検討を進めております。スペースの活用方法や必要な物資の量等については、引き続き検討してまいります。

委　員：　立体駐車場で救援物資を集配するとのことだが、ボランティア本部の設置も庁舎敷地内を想定しているのか。

事務局：　災害時のボランティア対応につきましては、どこまでの機能を庁舎敷地内で対応するのかということも含めて、今後も引き続き防災部局と連携して検討してまいります。

委　員：　災害に対する整備について、官庁施設の整備では、Ⅰ類～Ⅲ類の分類を行うが、新庁舎はどのレベルを想定しているか。

事務局：　新庁舎は、耐震性Ⅰ類、立体駐車場は、耐震性Ⅲ類を想定しています。

委　員：　地下式雨水貯留槽の容量はどの程度か。また、免震構造は市民病院と同様の仕様か。

事務局：　地下式雨水貯留槽の容量につきましては、現在、各種基準に沿って検討しております。また、市民病院は、地下１階を駐車場としたことから、地下１回柱頭免震構造としましたが、新庁舎は、防災拠点である事から地下は設けず、基礎免震構造を検討しています。

委　員：　東側集落との調和とは具体的にどのようなことを検討しているか。

事務局：　敷地東側に広場・緑地を整備することで配慮を行う計画です。また、建物につきましても、上階をセットバックすることで周辺への圧迫感を軽減しております。

⑶ 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告について

【説明内容】

事務局より資料１の内容について説明

【主な意見等】

委　員：　２階平面について、エレベーターや主たる動線に対して窓口がより分かりやすいプランを検討すること。

事務局：　頂いたご意見を参考にして、引き続き検討してまいります。

委　員：　ワンストップサービスの実現について、例えば２階に上水道課を想定しているが、手続きは１階で可能になるのか。

事務局：　ワンストップサービスには、様々な手法があるため、他自治体の事例を参考に引き続き検討します。

委　員：　保健センターを新庁舎に複合化することはどうしても不可能なのか。

事務局：　庁舎床面積の増大や、庁舎機能との両立が難しいこと、駐車場台数がさらに必要になることから困難と判断しました。

委　員：　七宝焼の活用とは、具体的にどのようなものを考えているか。

委　員：　市民ミーティングでは、敷地内の通路に埋め込んで「七宝焼ロード」を作る等のご意見もありましたので、本市の伝統産業である七宝焼の活用を引き続き検討してまいります。

⑷ 事業スケジュールについて

【説明内容】

事務局より資料１の内容について説明

【主な意見等】

委　員：　入札不調対策として、誰でも施工ができるような設計仕様や実勢コストの調査などを行う事。

事務局：　適正な発注を実施するために、調査・研究を続けてまいります。